

小児脳神経外科コース

主たる研修病院 (所属病院)		東京都立小児総合医療センター
連携して研修する病院・施設(予定)		東京都立多摩総合医療センター 獨協医科大学埼玉医療センター ヨンセイ大学セブランス病院
研修時に必要とする知識・技量 (応募資格)		日本脳神経外科学会脳神経外科専門医取得 かつ日本小児神経外科学会認定医取得もしくは同等の臨床経験を有するもの
コース 責任者	氏名(所属)	井原 哲(小児総合医療センター 脳神経外科部長)
	資格名	日本脳神経外科学会脳神経外科専門医 日本小児神経外科学会小児神経外科認定医 日本脊髄外科学会脊椎脊髄外科専門医 日本神経内視鏡学会神経内視鏡技術認定医
	専門分野	小児脳神経外科、脊椎脊髄外科、神経内視鏡
臨床指導体制		病棟主治医として他のスタッフ医師と同様に患者の受け持ちを担当し、術前診断からインフォームドコンセント、手術や薬物療法を責任をもって行うことができるように指導する。 手術は、コース責任者が直接指導を行い、下記の研修項目を3年間で達成する。 症例カンファレンスでは、専攻医の指導をおこないプレゼンテーションの責任をもつ。 スタッフ医師の指導下に臨床研究を立案、実施し、学会発表、論文発表を行う。
臨床研究	これまで 行ってきた 研究と実績	小児水頭症に対する脳室腹腔シャントの治療効果の評価(後方視的観察研究) 小児脳腫瘍に対するmTOR阻害薬を用いたNeoadjuvant療法(後方視的単施設観察研究) 我が国における矢状縫合両側人字縫合早期癒合症の頻度と病態(後方視的多施設共同観察研究) 小児後頭蓋窩腫瘍の伴う非交通性水頭症の管理法の検討(後方視的単施設観察研究) 発生学的段階に基づく脊髄脂肪腫の新たな分類(後方視的多施設観察研究) 小児もやもや病に対する間接的血行再建術後のt-NIRSを用いた非侵襲脳血流評価(都立病院臨床研究費) NovoTTF-100Aの小児膠芽腫への適応拡大を目指した先進医療臨床試験(AMED) MRI検査時の処置時鎮静におけるプロポフォールと併用するデクスメトミジンの安全性および有効性を検討する第3/4相試験(治験)
	今後行う 研究と 研究体制	Craniosynostosisの全国疫学調査(後方視的多施設共同研究)(AMED) 小児神経外科手術の周術期抗菌薬の適正化に関する研究(後方視的観察研究) びまん性脳幹部神経膠腫に伴う水頭症に対する内視鏡的第3脳室開窓術の有効性に関する検討(後方視的観察研究) 小児脳動静脈奇形に対する脳血管内治療の役割(後方視的観察研究) 小児もやもや病の出血例に関する検討(後方視的観察研究)
研修項目		手術(指導的術者):脊髄係留解除術50件、脊髄髄膜瘤修復術3件、神経内視鏡手術20件、頭蓋骨縫合早期癒合症手術25件、水頭症手術30件 手術(指導下術者):小児脳腫瘍手術20件、脳血管手術10件、選択的脊髄後根切断術5件 学会発表 国内全国学会10件 国際学会2件 論文発表 和文2、英文2
研修内容・達成目標		豊富な症例数・指導医による研修を通じて小児脳神経外科診療を独立してマネージメントできる臨床・研究能力を養成する。 具体的な研修目標は下記のとおりとする。 1.小児脳神経外科の基本術式を独立して行うことができる。 2.小児脳腫瘍をはじめとする小児脳神経外科の高難度手術を指導医の監督下に行うことができる。 3.専攻医、サブスペシャルティレジデントの指導ができる。 4.臨床研究を立案して実施することができる。 5.日本小児神経外科学会の学術委員の資格を得る。
コース内容に関する 問合せ先		井原 哲(東京都立小児総合医療センター 脳神経外科部長) TEL:042-300-5111(代表)